

**Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations
Connector バージョン 1.0**
ユーザーズガイド

メモ、注意、警告

① **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2017 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次

1 はじめに	4
2 主な機能	5
3 トポロジの収集と転送	6
Dell EMC デバイスの表示.....	6
HPE Operations Manager i コンソールのデバイス属性.....	6
トポロジ統合で使用されたマッピング.....	7
4 イベントの収集と転送	8
OME と OMi のイベントのマッピング.....	8
デバイスイベントの表示	9
5 ノード数の収集と転送	10
ノード数イベントの表示.....	10
6 OMi からの OME コンソールの起動	11
ノードからの OME コンソールの起動.....	11
イベントからの OME コンソールの起動.....	11
7 設定	12
Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector タスクスケジューラ.....	12
Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector ポリシー.....	12
8 トラブルシューティング	14
お使いのシステムを OME バージョン 2.2 からバージョン 2.3 にアップグレードすると、OMi コンソールに少数の CI コレクションが別の名前で 2 回表示される.....	14
お使いのタイムゾーンが UTC よりも 4 時間遅れている場合、Time created (作成時刻) フィールドのタイムスタンプが正しく表示されない.....	14
デバイス、イベント、およびノード数情報が OMi コンソールに表示されない.....	15
OMi を使用して OME コンソールを起動できない.....	15
9 Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のライセンス	16
10 Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス	17

はじめに

このガイドでは、イベントおよびトポロジのポリシーのアクティブ化、デバイスの監視と表示、HPE Operations Manager i (OMi) コンソールを使用したイベントの監視と表示など、Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector の機能の使用方法を説明します。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector には、Dell EMC OpenManage Essentials (OME) を HPE Operations Manager i (OMi) と統合する機能があります。OME 向け Operations Connector は、イベントとトポロジに関するシステム管理データを OME から収集して OMi に転送することにより、システム管理者と IT 管理者がデータセンター内の Dell EMC デバイスの包括的なビューを容易に得られるようにします。OMi 環境から OME の Web コンソールを直接起動することもでき、Dell EMC デバイスの詳細なトラブルシューティング、設定、管理が行えます。

OME 向け Operations Connector を使うと、以下のことが可能になります。これにより、Dell EMC デバイスのライフサイクル管理を行う OME 環境と、OMi でのビジネスサービス管理とを結び付けることができます。

- トポロジ情報をほぼリアルタイムで同期 - OME から OMi
- イベント情報をほぼリアルタイムで同期 - OME から OMi

OME 向け Operations Connector のインストーラ、インストールガイド、リリースノートは、自己解凍形式ファイル

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector v1.0_A00.exe にパッケージされています。本バージョンの OME 向け Operations Connector をインストールする前に、Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement または Dell.com/openmanagemanuals から最新の文書をダウンロードしてください。

主な機能

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector バージョン 1.0 の主な機能は、次の表に説明されているとおりです。

表 1. 主な機能

特長	機能
トポロジの収集と転送	OME 向け Operations Connector は OME からデバイスのトポロジを収集し、OMi で使用できるようにします。詳細については、「 トポロジの収集と転送 」を参照してください。
イベントの収集と転送	OME 向け Operations Connector は OME からイベントとアラートを収集し、OMi で使用できるようにします。詳細については、「 イベントの収集と転送 」を参照してください。
ノード数の収集と転送	OME 向け Operations Connector は、トポロジタスクスケジューラのサイクルが終了するたびに OME から収集されたノードの合計数を収集し、OMi で使用できるようにします。詳細については、「 ノード数の収集と転送 」を参照してください。
特定ノードに対する OME コンソールの起動	OME 向け Operations Connector では、OMi コンソール内のノードから OME コンソールを起動できます。サポートする Dell デバイスを管理者がトラブルシューティングしたり管理したりする場合に便利です。詳細については、「 ノードからの OME コンソールの起動 」を参照してください。
イベントに対する OME コンソールの起動	OME 向け Operations Connector では、OMi コンソール内のイベントから OME コンソールを起動できます。サポートする Dell デバイスを管理者がトラブルシューティングしたり管理したりする場合に便利です。詳細については、「 イベントからの OME コンソールの起動 」を参照してください。

トポロジの収集と転送

OME 向け Operations Connector は、次の手順を実行して、OME から OMi にトポロジ情報を同期させます。

- 1 トポロジ情報は、REST API を使用して OME から収集されます。
- 2 OME 向け Operations Connector では、REST API によって収集されたトポロジ情報は XML ファイルに格納されます。
- 3 格納されたトポロジ情報はトポロジ統合ポリシーによって処理された後、OMi に転送されます。

OME トポロジ構造は、OMi 内の対応する構造にマッピングされます。Operations Connector が OME から収集して OMi にインポートしたオブジェクトの範囲は、OME が検出して管理する Dell EMC デバイスによって異なります。トポロジ収集と転送の初期プロセスが完了したら、すべてのインポートしたデバイスと基本プロパティが OMi コンソールに表示できます。

- ① **メモ:** OME 内の任意のノードを削除しても、OMi の同期に即座に反映されることはなく、OMi の通常のエージングサイクルに従います。OMi でノードまたは関係へ行った明示的な変更は、OME 内のノードに影響しません。
- ① **メモ:** OMi 内の特定のノードを監視したくない場合は、そのノードを OME の除外フィルタに追加するか、ノードを OME から削除します。

トピック：

- Dell EMC デバイスの表示
- トポロジ統合で使用されたマッピング

Dell EMC デバイスの表示

- ① **メモ:** Dell EMC デバイス用にカスタムビューを作成してください。カスタムビューを作成する方法の詳細については、[Dell.com/openmanagemanuals](https://dell.com/openmanagemanuals) にある Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector インストールガイドを参照してください。

- 1 HPE Operations Manager i コンソールを起動します。
- 2 Workspaces (ワークスペース) > Operations Console (操作コンソール) > Event Perspective (イベントパースペクティブ) の順にクリックします。
- 3 VIEW EXPLORER (ビューエクスプローラ) で、作成したカスタムビューを選択します。
OMi コンソールで、OME の下にすべての Dell EMC デバイスがグループ化されて表示されます。

HPE Operations Manager i コンソールのデバイス属性

以下は、Dell EMC デバイスに対して OME から OMi コンソールに収集されたデバイス属性です。

- BiosAssetTag (BIOS 資産タグ)
- Display Label (表示ラベル)
- Monitored By (監視元)
- Name (名前)
- NodeModel (ノードモデル)
- osDescription (OS 概要)
- PrimaryDNSname (プライマリ DNS 名)

- PrimaryIPAddress (プライマリ IP アドレス)
- SerialNumber (シリアルナンバー)

トポロジ統合で使用されたマッピング

以下は、OME コンソールのデバイスタイプに対応する OMi コンソールの CI タイプを示しています。

表 2. OME デバイスタイプと OMi CI タイプ

OME デバイスタイプ	OMi CI タイプ
その他	ノード
CMC	シャーシ
テープ	ストレージアレイ
EMC	ストレージアレイ
MD ストレージ	ストレージアレイ
EqualLogic グループ	ストレージアレイ
EqualLogic メンバー	ストレージアレイ
Compellent	ストレージアレイ
NAS アプライアンス	ストレージアレイ
Dell Networking	スイッチ
FC スイッチ	スイッチ

イベントの収集と転送

OME 向け Operations Connector は、次の手順を実行して、OME から OMi にイベント情報を同期させます。

- 1 イベント情報は、REST API を使用して OME から収集されます。
- 2 OME 向け Operations Connector では、REST API によって収集されたイベント情報は XML ファイルに格納されます。
- 3 格納されたイベント情報はイベント統合ポリシーによって処理された後、OMi に転送されます。

各デバイスに関連付けられたすべてのイベントを表示できます。これにより、解決を必要とするアクティブなイベントの概要も確認できます。以下は、OMi コンソールでのイベントステータスと、OME でのイベントステータスとの対応付けを示しています。

表 3. OME と OMi のイベントステータス

OME でのステータス	OMi でのステータス
未承認	オープン
承認済み	クローズ

トピック：

- OME と OMi のイベントのマッピング
- デバイスイベントの表示

OME と OMi のイベントのマッピング

以下は、OMi コンソールでのイベントの正常性状態と、OME でのイベントの正常性状態との対応付けを示しています。

表 4. OME と OMi のイベントのマッピング

OME のイベント	OMi のイベント
 図 1. 正常イベントアイコン	 図 2. 正常イベントアイコン
 図 3. 情報イベントアイコン	 図 4. 情報イベントアイコン
 図 5. 警告イベントアイコン	 図 6. 警告イベントアイコン



図 7. 重要イベントアイコン



図 9. 不明イベントアイコン



図 8. 重要イベントアイコン



図 10. 不明イベントアイコン

デバイスイベントの表示

- 1 **HPE Operations Manager i** コンソールを起動します。
- 2 **Workspaces (ワークスペース) > Event Perspective (イベントパースペクティブ)** の順にクリックします。
- 3 **VIEW EXPLORER (ビューエクスプローラ)** で、作成したカスタムビューを選択します。
OME 向け Operations Connector によって監視されているデバイスがリストされます。
- 4 デバイスをクリックします。
選択したデバイスに関連付けられたイベントが、**EVENT BROWSER (イベントブラウザ)** ウィンドウに表示されます。

ノード数の収集と転送

トポロジの収集と転送のサイクルが終了するたびに、OME 向け Operations Connector は OME から収集されて OMi に転送されたノードの数をカウントします。このノード数情報は、OMi への情報イベントとして OME 向け Operations Connector から転送され、OMi コンソールの **Event Perspective (イベントパースペクティブ)** に表示できます。

① **メモ:** ノード数ポリシーがアクティブになっていることを確認します。

ノード数イベントの表示

ノード数情報を表示するには、次の手順を実行します。

- 1 **HPE Operations Manager i** コンソールを起動します。
- 2 **Workspaces (ワークスペース) > Event Perspective (イベントパースペクティブ)** の順にクリックします。
- 3 ノード数メッセージを表示するには、**View Explorer (ビューエクスプローラ)** から Operations Connector ノードを選択します。
- 4 ノード数イベントの詳細情報を表示するには、ノード数イベントを右クリックして、**Properties (プロパティ)** をクリックします。**Events Details (イベント詳細)** ウィンドウに、アプリケーション、オブジェクト、ポリシー名などの基本情報が表示されます。

OMi からの OME コンソールの起動

OME 向け Operations Connector では、ノードおよびイベントから OpenManage Essentials (OME) コンソールを起動できます。OME コンソールを起動して、Dell EMC デバイスのトラブルシューティング、設定、管理作業を実行できます。

OME コンソールを起動するには、OMi で OME URL ツールを設定する必要があります。詳細については、Dell.com/openmanagemanuals にある『*Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector Installation Guide*』の「Configuring the OME URL tool in HPE OMi console (HPE OMi コンソールでの OME URL ツールの設定)」の項を参照してください。

トピック :

- ノードからの OME コンソールの起動
- イベントからの OME コンソールの起動

ノードからの OME コンソールの起動

OMi 内の選択されたノードに対して OME コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 **HPE Operations Manager i** コンソールを起動します。
- 2 **Workspaces (ワークスペース) > Event Perspective (イベントパースペクティブ)** の順にクリックします。
- 3 **Browse Views (ビューの参照)** で、作成したビューを検索します。
- 4 ノードを右クリックして、**Launch Tool (ツールの起動)** を選択します。
- 5 OME コンソール起動ツールを選択して **Next (次へ)** をクリックし、**Run (実行)** をクリックします。
OME コンソールが正常に起動されます。

イベントからの OME コンソールの起動

OMi 内の選択されたノードに対して OME コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 **HPE Operations Manager i** コンソールを起動します。
- 2 **Workspaces (ワークスペース) > Event Perspective (イベントパースペクティブ)** の順にクリックします。
- 3 イベントを右クリックして、**Launch (起動) > Tools (ツール)** の順に選択します。
- 4 OME コンソール起動ツールを選択して **Next (次へ)** をクリックし、**Run (実行)** をクリックします。
OME コンソールが正常に起動されます。

OME 向け Operations Connector を設定するには、次の手順を実行します。

- Operations Connector タスクスケジューラを使用して、トポロジとイベントの統合を設定します。詳細については、「[Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector タスクスケジューラ](#)」を参照してください。
- Operations Connector ポリシーをアクティブにします。詳細については、「[Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector ポリシー](#)」を参照してください。

OME 向け Operations Connector のインストールと設定の詳細については、[Dell.com/openmanagemanuals](#) にある Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector インストールガイドを参照してください。

トピック：

- [Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector タスクスケジューラ](#)
- [Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector ポリシー](#)

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector タスクスケジューラ

OME 向け Operations Connector では、次の 2 つのタスクスケジューラを使用できます。

- Dell EMC Topology Scheduler - OME からトポロジ情報を収集します。
- Dell EMC Event Scheduler - OME からイベント情報を収集します。

タスクスケジューラを実行して、システム管理データが OME から正常に収集されるようにする必要があります。タスクスケジューラのパラメータを設定する方法の詳細については、[Dell.com/openmanagemanuals](#) にある Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector インストールガイドを参照してください。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector ポリシー

OME 向け Operations Connector では、次のポリシーを使用できます。

- トポロジ統合ポリシー - デバイス情報を OME から OMi に同期します。
- イベント統合ポリシー - イベント情報を OME から OMi に同期します。
- ノード数情報ポリシー - OME 向け Operations Connector が収集したノード数を提供します。

表 5. OME 向け Operations Connector のポリシー

Policy (ポリシー)	説明
Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector - トポロジ統合	OME で検出されたデバイスをランタイムサービスモデル (RTSM) に統合します。
Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector - イベント統合	OME にあるイベント情報を OMi に送信します。
Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector - ノード数情報	OME から収集されたノード数情報を持つイベントを送信します。

トラブルシューティング

本項では、OME 向け Operations Connector 使用中に発生する可能性がある問題とその解決策をリストします。

お使いのシステムを OME バージョン 2.2 からバージョン 2.3 にアップグレードすると、OMi コンソールに少数の CI コレクションが別の名前で 2 回表示される

トポロジ同期を OME 2.2 を使用して OMi で実行した後に OME 2.3 にアップグレードした場合、トポロジ同期サイクルの後に、別の名前で 2 回表示される少数の CI のコレクションがあります。古い CI コレクションを手動で削除する必要があります。

次の表に、アップグレード後に OMi コンソールに 2 回表示される CI コレクションを示します。

表 6. デバイスタイプ - OME 2.2 および 2.3 の使用中の CI コレクション

デバイスタイプ	OME 2.2 の使用中の CI のコレクション	OME 2.3 の使用中の CI のコレクション
ネットワークスイッチ	Dell Networking スイッチ	Dell EMC ネットワークスイッチ
Compellent アレイ	Dell Compellent アレイ	Dell EMC Compellent アレイ
EqualLogic グループ	Dell EqualLogic グループ	Dell EMC EqualLogic グループ
NAS アプライアンス	Dell NAS アプライアンス	Dell EMC NAS アプライアンス

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 HPE Operations Manager i コンソールを起動します。
- 2 **Administrator (管理者) > RTSM Administration (RTSM 管理) > Modeling (モデリング) > Modeling Studio (モデリングスタジオ) > Resources (リソース)** の順にクリックします。
- 3 **Resource Type (リソースタイプ)** で、**Models (モデル)** を選択します。
- 4 表示された古い CI コレクションを削除します。
たとえば、アップグレード後に、ネットワークスイッチで、古い CI コレクション **Dell Networking スイッチ** を削除できます。

お使いのタイムゾーンが UTC よりも 4 時間遅れている場合、Time created (作成時刻) フィールドのタイムスタンプが正しく表示されない

お使いのタイムゾーンが UTC よりも 4 時間遅れている場合、OMi コンソールの Dell EMC イベントのタイムスタンプと、OME の Dell EMC イベントのタイムスタンプに、1 時間の差が生じます。この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector — Event Integration (Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector - イベント統合)** ポリシーをダブルクリックします。
Policy Editor (ポリシーエディタ) ウィンドウが表示されます。

- 2 **Defaults (デフォルト)** タブをクリックし、**Event Attributes (イベント属性)** をクリックします。
- 3 **Time Created (作成時刻)** フィールドで、デフォルト値 `<$DATA:/event/Time>` を `<$DATA:/event/Time> -3` に変更します。
- 4 **Save (保存)** をクリックします。
- 5 **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector — Event Integration (Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector - イベント統合)** ポリシーを右クリックして、**Activate (アクティブ化)** をクリックします。
イベント統合ポリシーがアクティブになります。

ポリシーがアクティブ化された後、OMi コンソールに転送されたイベントに正しいタイムスタンプが表示されます。

デバイス、イベント、およびノード数情報が OMi コンソールに表示されない

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 次の OME 向け Operations Connector ポリシーをアクティブ化したことを確認します。
 - トポロジ統合ポリシー
 - イベント統合ポリシー
 - ノード数情報ポリシー
- 2 タスクスケジューラを実行します。

OMi を使用して OME コンソールを起動できない

指定された OME URL が `https://<OME IP address or OME FQDN>:<OME Port Number>` の形式であることを確認します。

OMi コンソールで OME URL ツールを作成する方法の詳細については、[Dell.com/openmanagemanuals](https://dell.com/openmanagemanuals) にある『*Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector Installation Guide*』の「Configuring the OME URL tool in HPE OMi console (HPE OMi コンソールでの OME URL ツールの設定)」の項を参照してください。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のライセンス

OpenManage HPE OMi Operations Connector はライセンス製品で、自己申請に基づくライセンス構造を採用しています。ライセンスは、監視が必要なデバイス数に基づいて購入する必要があります。ライセンスの詳細については、Dell EMC の営業担当者にお問い合わせください。

Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

次のリンクを使用して、必要なドキュメントにアクセスします。

- Dell EMC Enterprise システム管理マニュアル — [Dell.com/SoftwareSecurityManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC OpenManage マニュアル — [Dell.com/OpenManageManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/esmmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- iDRAC および Dell EMC Lifecycle Controller マニュアル — [Dell.com/idracmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC 保守ツールマニュアル — [Dell.com/ServiceabilityTools](https://www.dell.com/support/manuals)
- Client Command Suite システム管理マニュアル — [Dell.com/DellClientCommandSuiteManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- a [Dell.com/Support/Home](https://www.dell.com/support/home) に移動します。
- b **Choose from all products (すべての製品から選択)** をクリックします。
- c **All products (すべての製品)** セクションで **Software & Security (ソフトウェアおよびセキュリティ)** をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **Enterprise Systems Management (エンタープライズシステム管理)**
 - **Remote Enterprise Systems Management (リモートエンタープライズシステム管理)**
 - **Serviceability Tools (保守ツール)**
 - **Dell Client Command Suite (デルクライアントコマンドスイート)**
 - **Connections Client Systems Management (接続クライアントシステム管理)**
- d ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。